

九州地域戦略会議「第16回 夏季セミナー」

# 新たな未来の創造

## ～KYUSHU(九州)から起こす波～



**開催日** 2019年8月7日(水)～8月8日(木)

**会場** 熊本ホテルキャッスル

開会式・基調講演・全体会議：	2F	キャッスルホールA・B
第1分科会：	2F	キャッスルホールC
第2分科会：	2F	キャッスルホールD
第3分科会：	B1F	クリスタルホールA
第4分科会：	B1F	クリスタルホールB

目 次

ごあいさつ ..... 2

プログラム ..... 4

基調講演 ..... 8

第1分科会  
    新たな外国人材の受入れ ..... 10

第2分科会  
    スポーツの多様な可能性を活かした九州創生 ..... 12

第3分科会  
    新技術への挑戦 ～九州の強みを伸ばすAI・データ・ロボット活用～ ..... 14

第4分科会  
    地方創生、実践編！～ゆるやかな地域コミュニティ（共同体）が決め手 ..... 16

全体会議 ..... 18

会場案内図 ..... 20

参加者名簿 ..... 別冊

## ご あ い さ つ

現在、世界に先行して日本が直面する人口減少・少子高齢化という構造的課題について、国・地方は総力を挙げて地方創生の取組を進めています。しかしながら、我が国の将来の人口減少・少子高齢化の大きな流れは依然変わらず、東京一極集中はむしろ進んでいます。

こうした課題に道筋をつけ、人口減少を緩和し、歯止めをかけていくため、今後も地方創生の取組を粘り強く進め、加速していかなければなりません。

このような中、本年6月21日に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2019」では、国際経済環境の変化や少子高齢化、第4次産業革命の進展などを踏まえ、「Society5.0」実現の加速に向けた取組を進めることとされています。また、同日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2019」に基づき、12月には第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定される予定です。

九州・山口地域では、これらの国の動きに先駆けて本年6月5日に開催した第35回九州地域戦略会議において、各県知事と経済界代表者をリーダーとする6つのプロジェクトチームを立ち上げました。これまでの九州創生の取組成果や課題を踏まえ、「魅力的なしごと・働き方」、「先端技術・新産業等への挑戦」、「多様な人材の活躍・活用」、「若い世代の結婚・出産・子育て・教育」、「選ばれる地域づくり」、「安心な暮らしを守る社会システム」をテーマに、官民一体となって次期5か年の新たな戦略づくりを進めています。

今回16回目を迎える夏季セミナーでは、「新たな未来の創造 ～KYUSHU（九州）から起こす波～」を統一テーマに、次期九州創生の重要テーマの中から「新たな外国人材の受入れ」、「スポーツの多様な可能性を活かした九州創生」、「新技術への挑戦」、「地方創生、実践編！」の4つの分科会を設定いたしました。

九州・山口地域をリードする産学官のトップが一堂に会する貴重な機会であり、参加者の皆様には、次期戦略における具体策も念頭にぜひ活発にご議論いただきたいと存じます。

結びに、本セミナーが、「九州はひとつ」という機運をさらに高め、新たな未来の創造に繋がる契機となることを祈念いたします。

九州地域戦略会議 共同議長  
九州地方知事会 会長 広瀬 勝貞

## ご あ い さ つ

九州地域は、2016年の熊本地震、2017年の九州北部豪雨、昨年 of 西日本豪雨と連続して大きな災害に見舞われました。

熊本県では、災害に対する備え、心がけを教訓として、単に元の姿に戻す取り組みだけでなく、復旧・復興を更なる発展につなげるため、創造的復興を目指しております。

九州・山口地域の産官学が一体となって、その取り組みを支援していくと共に、大規模災害に備えた取り組みについても更に注力していく必要があります。

非常時の迅速な体制づくりを通して、支援・受援体制が強化されることにより、九州の今後の安心・安全度向上に結び付けたいと思います。

さて、今秋9/20～11/2に開催される、ラグビーワールドカップが、全国12会場48試合の内、九州では、大分・熊本・福岡の3会場で10試合が開催され、大勢の欧・米・大洋州の方々が九州を訪問することが予想されます。

更に、熊本県では、ワールドカップの期間中、九州初の集結型祭りイベント「祭りアイランド九州」を開催し、九州・山口地域の祭りの魅力を現地で直接PRすることで、今後、増加が見込まれる訪日観光客の域内での滞在を伸ばし、各地への周遊を誘発することを期待しています。

6月に長崎県壱岐市で開催された、第35回九州地域戦略会議では、私と共同議長である広瀬大分県知事の提案により、九州創生に向けた新たな6つのプロジェクトチームが立ちあがりました。

本日の夏季セミナー各分科会においても、それぞれ討議されますが、今後、行政側と経済界側が共同で協議を重ねていき、九州モデルを創りあげたいと思います。

今回の第16回夏季セミナーでは、「新たな未来の創造～KYUSHU (九州) から起こす波～」を統一テーマに掲げ、九州・山口地域が、明るい未来に向け、大きな発展を成し遂げるための課題として、4つのテーマを設定いたしました。

ご参加の九州・山口地域を牽引する産官学のトップの皆様には、積極的に議論にご参画いただき、是非、次世代の地域経済の魅力づくり発展のため、ご討議いただきますよう、お願い申し上げます。

結びに、本セミナーが、「九州から日本を動かす」という機運をさらに高め、世界に通じるKYUSHU (九州) の実現につながる契機となることを祈念いたします。

九州地域戦略会議 共同議長

一般社団法人九州経済連合会 会長 麻生 泰

# 九州地域戦略会議「第16回夏季セミナー」プログラム

第1日 8/7 (水)

会場 : 2F 「キャッスルホールA・B」

13:30 ■ 開会式

開会挨拶 九州地域戦略会議 共同議長  
熊本県知事

広瀬 勝 貞  
麻生 泰  
蒲島 郁 夫

## ■ 基調講演

「縮小時代における地域経営について」

野村総合研究所 顧問

東京大学公共政策大学院 客員教授

増田 寛也

15:30 ■ 分科会

第1分科会 新たな外国人材の受入れ

会場 : 2F 「キャッスルホールC」

座長 筑波大学大学院人文社会科学部 准教授  
事例発表者 公益財団法人九州経済調査協会 調査研究部次長  
事例発表者 本多機工(株) 代表取締役社長  
事例発表者 須恵町長  
事例発表者 在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館総領事

明石 純一  
大谷 友男  
龍造寺 健介  
平松 秀一  
ヴァービン

第2分科会 スポーツの多様な可能性を活かした九州創生

会場 : 2F 「キャッスルホールD」

座長 (一社) 日本スポーツツーリズム推進機構事務局長  
事例発表者 (一社) 九州スポーツツーリズム推進協議会  
事例発表者 医療法人 ひらまつ病院

中山 哲郎  
杉島 宰治  
平松 克輝

### 第3分科会 新技術への挑戦～九州の強みを伸ばす AI・データ・ロボット活用～

会場：B1F「クリスタルホールA」

座長	(株)村上憲郎事務所 代表取締役	村上 憲郎
事例発表者	(株)安川電機技術開発本部開発研究所次世代ロボット開発部部長	松浦 英典
事例発表者	日本電気(株)AI・アナリティクス事業部事業部長	池田 雅之
事例発表者	(株)NTT ドコモ執行役員九州支社長	山崎 拓

### 第4分科会 地方創生、実践編！～ゆるやかな地域コミュニティ（共同体）が決め手～

会場：B1F「クリスタルホールB」

座長	(一財)日本経済研究所専務理事 (代表理事)	鍋山 徹
事例発表者	長野県飯田市長	牧野 光朗
事例発表者	特定非営利活動法人 ACTY 理事長	町田 直子
事例発表者	(株)一平ホールディングス社長	村岡 浩司
事例発表者	環境省総合環境政策統括官	中井 徳太郎

18:30 ■ 懇親パーティー

会場：2F「キャッスルホールA」

第2日 8/8 (木)

9:00 ■ 全体会議

会場： 2階「キャッスルホールA・B」

全体会議座長

麻 生 泰

分科会報告

第1分科会座長

明 石 純 一

第2分科会座長

中 山 哲 郎

第3分科会座長

村 上 憲 郎

第4分科会座長

鍋 山 徹

10:30 ■ 閉 会

---

Memo

## 基 調 講 演

### 「縮小時代における地域経営について」

野村総合研究所 顧問

東京大学公共政策大学院 客員教授

増 田 寛 也 (ますだ ひろや) 氏

#### 略 歴

1951年生まれ。東京都出身。

##### (学歴)

1977年 3月 東京大学 法学部 卒業  
同 年 4月 建設省 入省

##### (職歴)

1982年 3月 千葉県警察本部交通部交通指導課長  
1986年 4月 茨城県企画部鉄道交通課長  
1993年 7月 建設省河川局河川総務課企画官  
1994年 7月 建設省建設経済局建設業課紛争調整官  
同 年12月 建設省退職  
1995年 4月 岩手県知事  
2007年 4月 岩手県知事退任(3期)  
同 年 8月 総務大臣  
内閣府特命担当大臣(安部改造内閣)  
同 年 9月 総務大臣  
内閣府特命担当大臣(福田内閣)  
2008年 8月 総務大臣  
内閣府特命担当大臣(福田改造内閣)  
同 年 9月 総務大臣  
内閣府特命大臣 退任

現在 野村総合研究所 顧問  
東京大学公共政策大学院 客員教授

Memo

## 【 第1分科 】 新たな外国人材の受入れ

### 趣 旨

急速に進む少子高齢化に伴う各産業における人手不足の現状に対応し、経済を継続的に維持・発展させていくため、国において新たな在留資格「特定技能」が創設され、平成31年4月から新たな外国人材の受入れが始まった。九州各県においても、女性や高齢者の活用とともに、外国人材を新たな労働力として受け入れ、活用していく必要がある。

優秀な人材の大都市圏への集中が懸念される中で、外国人材が九州を選び活躍できるための環境整備を九州全体で積極的に進めていかなければならない。

外国人材が活躍し、九州各地域の経済の活性化に繋げるための課題や方向性について検討する。

### 論 点

- ① 九州における労働力不足の現状と外国人材受入れの必要性
- ② 外国人材の受入れに係る事業者・行政の対応と課題
- ③ 九州全体で外国人材を獲得していくための施策の可能性

### 座 長

筑波大学人文社会系准教授 明石 純一（あかし じゅんいち）氏

### 経 歴

- 2015年～ 法務省・難民審査参与員  
2016年～ 同出入国管理政策懇談会委員  
2017年～ 移民政策学会常任理事  
2018年～ 内閣官房・第三国定住による難民の受入れ事業の対象拡大等に係る検討会  
有識者構成員

---

### 事例発表者

- 「九州地域における外国人就労の現状と今後の展望」  
公益財団法人九州経済調査協会 調査研究部 次長 大谷 友男 氏
- 「高度外国人材活用による海外事業戦略」  
本多機工株式会社 代表取締役社長 龍造寺 健介 氏
- 「須恵町オープンイノベーション戦略推進事業」  
須恵町長 平松 秀一氏
- 「豊かな人材を持つベトナム」  
在福岡ベトナム社会主義共和国総領事館 総領事 ヴー ビン氏



## 【第2分科会】スポーツの多様な可能性を活かした九州創生

### 趣 旨

九州では、本年ラグビーワールドカップをはじめ、ワールドカップバレーボール大会や女子ハンドボール世界選手権大会等が、また2021年には世界水泳、2023年には国民体育大会から名称が変わって第1回となる国民スポーツ大会が開催される等、大型のスポーツイベントが数多く開催されることになっており、これまで以上にスポーツへの関心が高まることが期待される。こうした動きを絶好の機会と捉え、本分科会においては、スポーツツーリズムをはじめ、プロスポーツ、まちづくり、人づくり等、スポーツの多様な可能性を活かした九州創生について幅広く議論する。

### 論 点

- ① 九州ならではの地域特性を活かしたスポーツツーリズムの可能性
- ② スポーツ施設の多様な利活用促進によるにぎわい創出
- ③ スポーツを通じたシビックプライドの醸成

### 座 長

一般社団法人 日本スポーツツーリズム推進機構 事務局長

中山 哲郎 (なかやま てつお) 氏

### 経 歴

1979年	株式会社日本交通公社 入社
1987年～2012年	夏季冬季オリンピック・パラリンピック・ワールドカップ等、数多くの国際スポーツイベントに関わられるとともに、東京オリンピック・パラリンピックの誘致に尽力
2012年～ 現在	一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構事務局長 以後、自治体のスポーツツーリズム推進事業のアドバイザーを歴任。内閣府地域活性化伝道師（2017年～）でもある。

---

### 事例発表者

- 「九州ならではの地域特性を活かしたスポーツツーリズムの可能性」  
「スポーツ施設の多様な利活用促進によるにぎわい創出」  
一般社団法人 九州スポーツツーリズム推進協議会 代表理事 杉島 幸治 氏
- 「スポーツによる地域振興とひらまつ病院」  
医療法人 ひらまつ病院 理事長 平松 克輝 氏



## 【第3分科会】新技術への挑戦 ～九州の強みを伸ばすAI・データ・ロボット活用～

### 趣 旨

AI、ビッグデータ、IoT 等を活用した革新的なデジタル製品・サービスが新たな市場を拓く一方、人口減少、少子高齢化の進行もあり、多くの企業が人手不足に直面するなど、社会課題が顕在化してきている。

九州には、自動車や半導体などのものづくり産業が集積しており、近年では福岡などを中心にIT・ベンチャー企業の取組も活発化しつつある。

このような状況のなか、第5世代移動通信システム(5G)のプレサービスが、今年(2019年)から開始される予定。

ソフトだけでなく、九州の強みであるハード分野も含め、先端技術やビッグデータを活用した新事業領域の開拓や様々な分野での社会実装に取り組んでいく必要がある。

### 論 点

- ① 第4次産業革命が進展する中、九州の強みであるものづくり等における先端技術への対応、ビジネスモデルの転換に向けた動向の把握
- ② 宇宙、海洋を含む新事業領域の開拓に向けた九州のポテンシャルと進出促進策の検討
- ③ ロボット、AI、5Gなど先端技術について、製造業だけでなく、観光、教育、医療など様々な分野で社会実装に挑戦する機運の醸成

### 座 長

(株)村上憲郎事務所 代表取締役 村上 憲郎 (むらかみ のりお) 氏

### 経 歴

大分県佐伯市生まれ。京都大学工学部卒業。日立電子、DECなどを経て、Googleに入社して以来、日本におけるGoogleの全業務の責任者を務めた。その後、名誉会長を務め、2011年退任。現在、村上憲郎事務所代表取締役。著書に『一生食べられる働き方』『村上式シンプル仕事術』など多数。

---

### 事例発表者

- 「ロボテックスの現状と今後の活用分野、社としての九州での取組の方向性について報告」  
株式会社安川電機 技術開発本部開発研究所次世代ロボット開発部 部長 松浦 英典氏
- 「AIの現状と今後の活用分野、社としての九州での取組の方向性について報告」  
日本電気株式会社 AI・アナリティクス事業部事業部長 池田 雅之氏
- 「5G、LPWA等通信技術の現状と今後の活用分野、社としての九州での取組の方向性について報告」  
株式会社NTTドコモ 執行役員九州支社長 山崎 拓氏



## 【第4分科会】地方創生、実践編！～ゆるやかな地域コミュニティ(共同体)が決め手～

### 趣 旨

地方創生の取り組みは、すでに始まって4年半が経過して実践段階に来ている。本分科会では、society5.0 やSDGs のトレンドを踏まえつつ、環境、観光・食などの分野での先進事例を紹介するとともに、その決め手となる“ゆるやかな地域コミュニティ(共同体)”の形成に焦点を当てる。

環境省は、九州の強みと特色を生かした「九州地域循環共生圏」を実現して、アジア、そして世界への発信で地域主導の取り組みをサポートする。地域主導の動きでは、自然環境の保全や観光・食などの分野で、人的なネットワークを通じたゆるやかな地域コミュニティ(共同体)の形成によって、経済再生への動きがみられる。以下のような視点で、九州経済の成長に向けた地方創生の課題と対応について議論を深める。

- ・ 起業家精神とネガティブ思考からの脱却
- ・ 長野県飯田市、青森県八戸市、宮崎県の先進事例と示唆
- ・ 成功事例と失敗事例の4つの要件
- ・ 地域の社会的課題の解決 vs. ありたい地域に向けた提案

### 論 点

- ① 環境、観光、食など、地方創生の具体的プロジェクトと横展開の可能性
- ② ゆるやかな地域コミュニティ(共同体)と新たな仕事の場づくり
- ③ 「九州地域循環共生圏」による地方創生の実現と地域主導の取り組みへのサポート

### 座 長

一般財団法人日本経済研究所 専務理事(代表理事) 鍋山 徹(なべやま とおる)氏

### 経 歴

1959年福岡生まれ。早稲田大学法学部卒。日本開発銀行(現株日本政策投資銀行)入行後、審査部、産業調査部、関西支店、南九州支店、九州支店、米国スタンフォード大学(国際政策研究所)派遣等を経て現職。2010～2014年、テレビ東京「ワールドビジネスサテライト(WBS)」のレギュラーコメンテーター。日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)林業WG主査、中小企業庁アドバイザーボード委員等。専門はエネルギー、化学、電機・半導体、リゾート産業、アジア経済等。主な著書に「地域創生のプレミアム(付加価値)戦略」中央経済社(共著2018)、「人口減少社会と地域経済」、「これからの企業経営のヒント」、「Facebook 未来の目」(日本政策投資銀行HP)。日本科学技術連盟「第5回クオリティマネジメント賞」受賞(論文「黒川温泉の成功プロセス」)。

---

### 事例発表者

株式会社 一平ホールディングス 社長	村岡 浩司 氏
特定非営利活動法人 ACTY 理事長	町田 直子 氏
長野県飯田市長	牧野 光朗 氏
環境省 総合環境政策統括官	中井 徳太郎 氏

Memo





# 第16回九州地域戦略会議 夏季セミナー 会場案内図

## 【会場】

■熊本ホテルキャッスル  
〒860-8565 熊本市中央区城東町4-2  
電話:096-326-3311 FAX:096-326-3399  
<https://www.hotel-castle.co.jp/>

## 周辺地図



※車でご来場される場合は、下記のルートにより正面玄関へお越しください。



# 第16回九州地域戦略会議 夏季セミナー 産業行政視察先・宿泊先案内図



# セミナー会場案内図(熊本ホテルキャッスル1F)

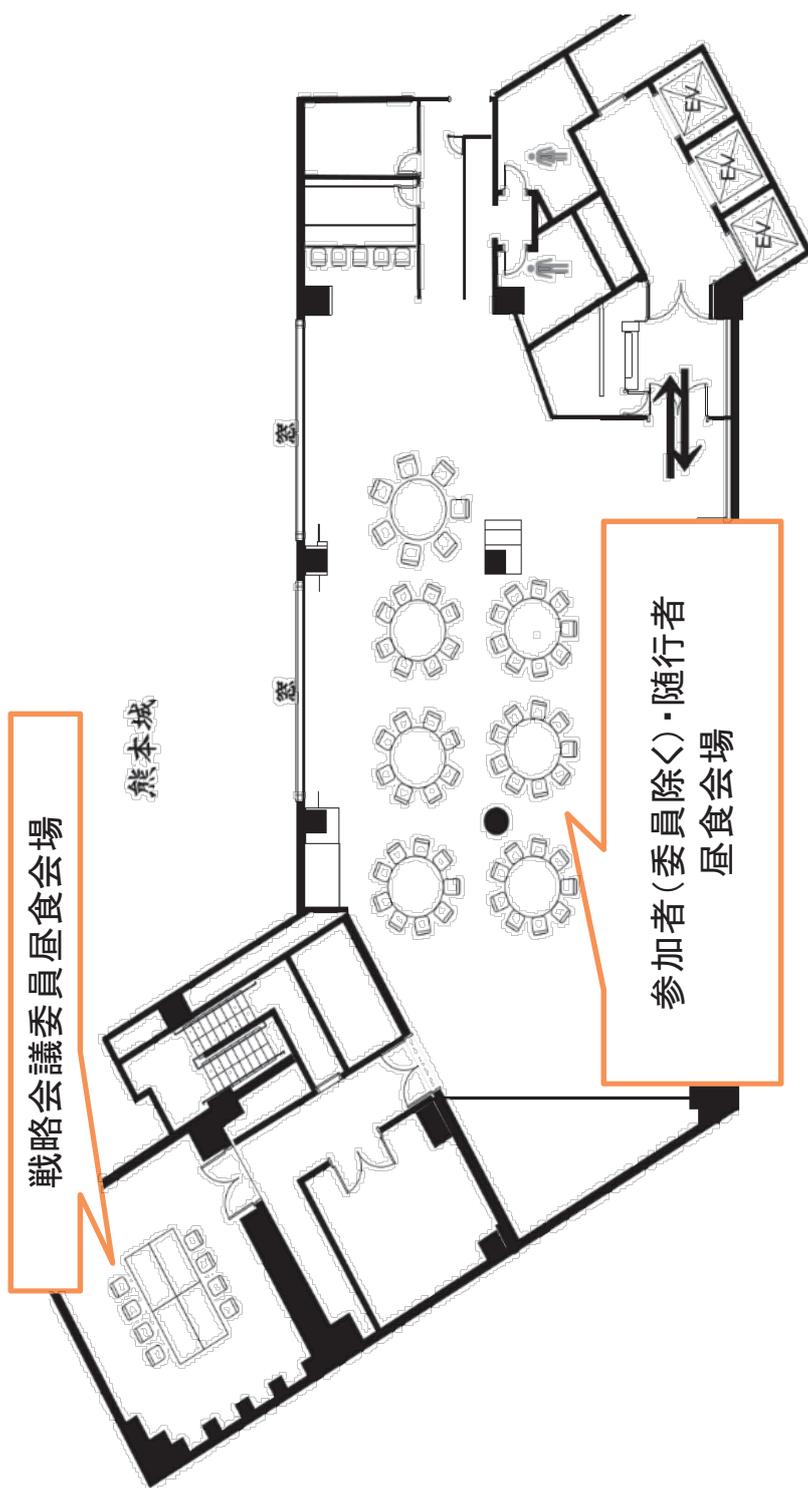
1F







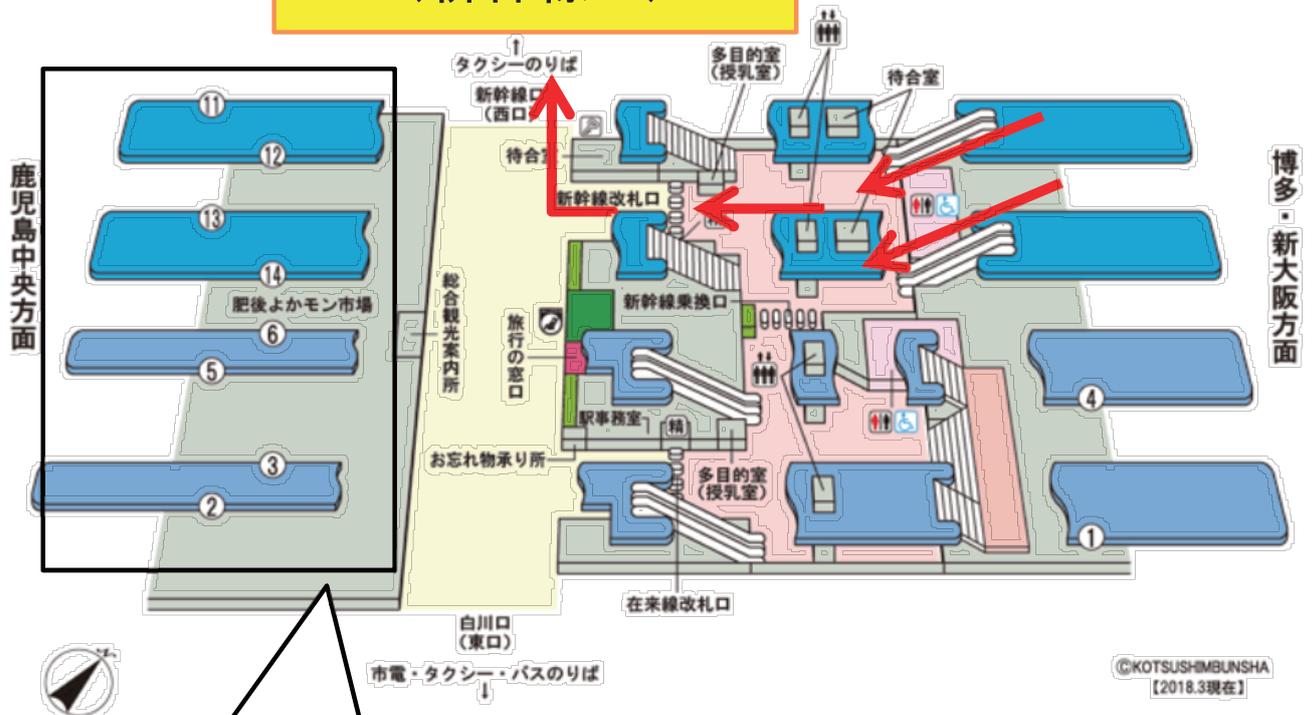
# 昼食会場案内図(熊本ホテルキャッスル11F)



# JR熊本駅構内案内図

## ■ 構内図

### 送迎バス乗降場所 (新幹線口)



JRおでかけネット(JR西日本)より

#### ■ 肥後よかモン市場(駅構内)

※詳細は、公式サイトより「フロアガイド」をご覧ください。

[公式サイトURL] <https://higo-yokamon.jp/>

[営業時間] (お買い物) 8:00 ~ 21:00  
(お食事) 11:00 ~ 23:00

※7:00~早朝営業店舗あり

## 九州地域戦略会議 事務局

九州地方知事会  
〒870-8501  
大分市大手町 3-1-1  
大分県総務部行政企画課内  
電話 (097) 506-2482  
FAX (097) 506-1712

一般社団法人 九州経済連合会  
〒810-0004  
福岡市中央区渡辺通 2-1-82  
電気ビル共創館 6階  
電話 (092) 761-4261  
FAX (092) 724-2102